

事例 3

刃先位置が変わる爪切りの製作

1 相談内容

リウマチのある女性からの相談です。これまで爪を自分で切ることがなく、介助者に切ってもらっていたが、気兼ねなく自分でやりたいと思っている。しかし自分が使える爪切りがないので、作ってもらえないかと相談がありました。本人より「指ごとに爪切りの位置を変えれば自分で切れるかもしれない。」との発言から、刃先の位置を変更できる台つき爪切りを製作することにしました。

2 利用者プロフィール

50代女性、リウマチにより身体障害者手帳1級、要支援3であり一人で暮らしています。

3 対応

爪切りを固定するネジ及び調整用ツマミ部分と縁を残して、台座の木材裏面を10mmの深さで削り出します。透明アクリル板を半円にカットし、調整用ツマミが通る円弧状の穴を開けます。爪切りには延長の柄をリベット止めして、爪切り本体を直径3mmネジで半円のアクリル板を通して台座へ固定します。また爪切りの左右に調整用ツマミ2個(直径6mmネジ)を取り付けます。



台つき爪切り外観



裏面の様子

4 結果

左右のツマミをゆるめてから半円状の透明アクリル板を円弧状に回転させて、本人が爪を切りやすい指の位置に決め、ツマミを締めて固定します。位置を固定したら、爪を爪切りの刃先へ持っていき、柄を押して切ります。本人は「気兼ねなく、自分で(爪を)切れることがうれしい。」との感想でした。また「(自分の好きな)ピンク色で作ってくださって、とてもうれしかったです。」とお礼を述べられました。

5 予算

700円程度